

令和7年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	3年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の特色・生徒の進路実現に沿ったカリキュラムを円滑に実践する。 ・コミュニケーション能力、ICT運用能力を高める授業を推進する。 ・生徒が主体的に学習に臨むための態勢を整える。 	(1)育成したい資質・能力を意識した指導目標や評価方法を共有する。 (2)生徒が自分の考えを表現し、学習意欲を高められるようICT機器を活用するなど、工夫された授業を推進する。 (3)授業外の学習指導の機会の充実を図る。	(1)育成したい資質・能力と、それを実現するための方策について、教科間、学年間で横断的に共有する機会をもつ。 (2)ICT機器の活用や、自分の考えを表現するなど工夫された授業を相互見学の機会をもつ。 (3)長期休業中の講習・補習に加え、個別ニーズへの対応も推奨する。	(1)教科間、学年間で横断的に共有する機会を複数回もつことができたか。 (2)ICT機器の活用や、自分の考えを表現するなど工夫された授業を相互見学することができたか。 (3)長期休業中の講習・補習や個別の対応を展開できたか。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、委員会活動、部活動、ボランティア活動を通じ自ら進んで参加する精神を確立し、次世代を担えるリーダーを育成する。 ・挨拶を軸とした規律ある学校生活を確立させる。 ・充実した教育相談体制を維持・継続する 	(1)学校行事や生徒会活動を軸に、主体的に学校運営に関わろうとする態度を育てる。 (2)自律を促す教育実践を進める。 (3)生徒が安心して相談できる環境を整備し、教職員間の情報共有と連携により組織的な教育相談体制を維持継続する。	(1)生徒会本部と各種委員会との関係が密になるような体制を構築し生徒一人ひとりが学校行事運営に関われるような体制を整備する。 (2)小規模校の特長を生かした声かけを行う。 (3)相談体制の見える化と利用の促進をするとともに、相談室の利用状況を把握して柔軟な運用体制を整備する。	(1)生徒会・委員会活動において、生徒が主体的に企画や提案を行う場面が見られたか。また、行事運営に対する意識や発言が活発になったか。 (2)規律ある生活により落ち着いた教育活動を行えたか。 (3)ケース対応における情報共有が円滑に行われたか。

	視点	3年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 希望の進路実現のために、高校入学後の早期に進路意識を高めさせ、多様な入試に対応できる力を身に着けさせる。 	(1)2年生の進路意識向上を目指す。 (2)多様な入試を希望する生徒への指導体制を整える。 (3)外部テストを活用した一般入試対策を強化する。	(1)朝読やインターンシップ、修学旅行などを通して、生徒の職業観を高める学びを行う。 (2)面談やガイダンス、データベースの活用などを通じて、きめ細かな対策を行う。 (3)外部テストの効果的な振り返りや、学習体制の充実を行う。	(1)学習活動を通して生徒が職業観に有効な学びを深めることができたか。 (2)教員と生徒の情報共有を効果的に用いて合格実績向上につなげることができたか。 (3)外部テストの活用や学習体制の充実により、自主学習の進展につなげることができたか。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・シチズンシップ教育及びボランティア活動などを通して地域社会の中の自己を意識できる活動を展開する。 ・地域の教育力を活用した学びを深め、家庭や地域社会との共通理解を深めさせる。 	(1)ボランティア委員が中心となって呼びかけを行い、多くの生徒が地域との協働を意識するようにする。 (2)地域清掃や幼稚園との交流など、ボランティア活動を年間計画に組み込み、活動を見える化する。	(1)シチズンシップ教育及びボランティア活動を担う地域の関係団体との連絡を密に行う。 (2)シチズンシップ教育及びボランティア活動に関する情報を年間計画に組み込み、活動を見える化する。また情報発信の回数を増やす。	(1)地域清掃やボランティア活動等への参加意識が高まったか。 (2)シチズンシップ教育及びボランティア活動に関する情報提供を計画的に進めることができたか。また情報発信の回数を増やすことができたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、不祥事防止に向けた取組を徹底し、信頼される学校づくりを進める。 ・安全・安心で円滑な学校生活が送れるような校内環境を維持する。 	(1)個人情報の取り扱いについて重点的に管理し、不祥事ゼロを目指す。 (2)校内美化を高い水準で維持する。	(1)個人情報の取り扱いについて研修をすすめ、蓄積したデータの計画的な整理を行う。 (2)空き教室を有効活用し、生徒の生活、学習環境を整える。	(1)電子データを中心とした個人情報等の計画的な整理ができたか。 (2)空き教室を有効活用することができたか。